

# 笑顔大好き

発行者：常井洋治  
〒319-0205 笠間市押辺1745  
TEL.0299-45-6818  
FAX.0299-45-0818



▲自民党農林部会長である小泉進次郎衆議院議員が笠間市土師の「栗の家」を訪れました。上月りようすけ参議院議員のご尽力によるものです。閉館していた「栗の家」(故小沢辰巳様経営)を特別に開けて頂き、特製のモンブランも復活しました。進次郎先生から「クリの品種に『笠間』はないのか」、「もっと日本一のクリの産地のPRを」など、有意義なアドバイスを頂きました。この機会を通して、全国に「笠間のクリ」が一層広がるようがんばります。(H29年7月22日)

— 燃える郷土愛。全力投球!! —

## 茨城県知事選挙 投票日 8月27日(日)

### 本日、8月11日(金)から投票できます

# そうだ！ 投票に行こう

あなたの1票で暮らしが変わる  
あなたの1票が「新しい茨城」をひらく

チェンジ!

投票は18歳から、みんなに声かけよう!

茨城県議会議員

常井洋治



# 常井洋治が皆さんとともに進める 地元の道路・河川・農地の整備

平成29年度 水戸土木事務所との勉強会(H29.7.24)

## [道路関係]

### ①国道355号笠間バイパス(手越～石井)の整備

【平成29年度予算：380,000千円】

L=5,200m W=18/6.5m

- 平成26年10月までに、全体計画延長5,200mのうち、3,860m(国道50号石井交差点から県道笠間つくば線まで3,200m、芸術の森公園入口付近の現道拡幅660m)が供用済み。
- 県道笠間つくば線から芸術の森公園入口付近までの1,340m区間については、用地取得がほぼ完了(平成29年度にJRの用地を一部取得し完了予定)。
- 平成29年度は、JR水戸線を跨ぐ(仮)下市毛跨線橋の橋梁上部工架設工事(JRに委託。なお、上部工製作工事は、平成28年度補正予算で実施中)と道路改良舗装工事を実施する。
- 平成31年に開催される茨城国体までに全線供用予定。

### ②平友部停車場線(大沢跨線橋～県立こころの医療センター前)の整備

【平成29年度予算：110,000千円】

L=980m W=16/6.5m

- 平成28年度までに、県立こころの医療センター前側から約320m区間の道路改良舗装工事が完了。
- 平成28年度補正予算で、完了区間から引き続き約160m区間の道路改良舗装工事を実施。大沢跨線橋まで残工事約500m。
- 平成29年度は用地取得を実施する。

### ③大洗友部線(橋爪地内)の整備と宍戸橋の早期架替

【平成29年度予算：30,000千円】

L=550m W=11～13/6.5m

- 大洗友部線の幅員狭小区間の現道拡幅を先行させる方針(涸沼川河川改修、宍戸橋架替えと合わせた三点セット)とし、平成28年度から国の交付金事業として採択された。
- 平成28年度補正予算で、未整備区間東端側から約



▲長年の懸案であった、狭くて危険な通学道路を解消するために、私が取り組んできた拡幅工事が進んでいる。「はなさか」下の県道大洗友部線。(H29年7月)

200m区間の道路改良舗装工事を実施中。平成29年度は用地取得を実施する。

### ④笠間つくば線(下市毛地内)の歩道整備

【平成29年度予算：12,000千円】

L=180m W=2.5m(歩道部)

- 国道355号笠間バイパスの整備完了後に、当該県道の起点(下市毛八軒町交差点)から国道355号笠間バイパスまでの区間を笠間市に移管するにあたって、JR水戸線第2柿岡街道踏切北側(GS)の交差点の歩道整備を実施する。
- 平成29年度から国の交付金事業として採択され、まずは用地取得を実施する。

### ⑤平友部停車場線(友部駅前)の電線地中化

【平成29年度予算：5,000千円】 L=320m

- 友部駅から約320m区間について、笠間市のシンボルロードとして、電線の地中化を図る。
- 平成29年度から国の交付金事業として採択され、まずは測量等を実施する。

### ⑥上吉影岩間線(下郷地区羽鳥方向踏切)の整備

- 県から笠間市への移管道となるため、県が測量・設計及び工事、笠間市が用地取得を行う。平成29年度も引き続き用地取得を実施。

### ⑦杉崎友部線バイパス(小原地内)の整備

- 畑総地区のバイパス整備ができるよう、久保下寺地区の現道とを結ぶバイパス区間について、引き続き笠間市と連携しながら地元関係者との調整を進める。

### ⑧石岡城里線バイパス(茨城中央工業団地(笠間地区))の整備

- 茨城中央工業団地(笠間地区)の企業立地の状況を踏まえながら、整備方針を検討する。

### ⑨笠間つくば線(道祖神峠のトンネル化)の整備

- 引き続き、道祖神峠のトンネル化によって生じる観光、物流面等への整備効果や整備手法を関係市と協議、



▲水戸土木事務所(伊藤敦史所長)の幹部の皆さんと定期的な勉強会を開催。地元の要望伝達と事業の進捗チェックを続けている。(H29年7月)

検討する。

#### ⑩道路の舗装修繕

【平成29年度予算：56,000千円】

- ・茨城岩間線（岩間IC前、押辺農協GS前）、国道355号（下郷ミニストップ前）、日立笠間線（福田地内）において、路面の傷みが著しい箇所の舗装修繕工事を実施する。

### [河川関係]

#### ⑪酒沼川の改修事業の促進（中流工区 L=9,300m）

【平成29年度：30,000千円】

- ・JR常磐線より穴戸橋までの680mについて、大洗友部線の整備とあわせ、河川改修を行う。平成29年度は、大洗友部線が接する区間の用地買収を行う予定。
- ・南吉原地区の浸水地域の対策として、堆積土砂の浚渫を実施する。

#### ⑫酒沼川の改修事業の促進（笠間工区 L=2,400m）

【平成29年度：20,000千円】

- ・平成29年度は、佐白大橋上流右岸の河川改修工事を行う。

#### ⑬酒沼前川の土砂撤去（小原地区、中市原地区：河川防災事業）

- ・平成21～25年度において、小原地区の江戸橋から谷津田橋までの1.5kmのうち960mの土砂撤去を完了。平成27年度は中市原地区（国道50号下流200m）の土砂撤去を実施した。平成29年度は、JR常磐線より上流部の土砂撤去を予定。

#### ⑭間黒川の土砂撤去（箱田地区：河川防災事業）

- ・平成22～26年度において、箱田地区の第4用水機場へくみ橋区間550mの土砂撤去を完了。平成29年度も引き続き土砂撤去を予定。

#### ⑮片庭川の改修事業の促進（箱田地区園場整備地区：河川防災事業）

- ・平成24～28年度において、土地改良区から創設換地分の用地約32,000㎡のうち約15,700㎡を県が取得。
- ・平成29年度も引き続き、用地取得を予定（29年度取得費約20,000千円。残金は約74,000千円余）。

#### ⑯枝折川の土砂撤去（住吉地区：河川防災事業）

- ・平成29年度は、水戸岩間線（岩間街道）の「高橋」上下流で実施予定。

#### ⑰巴川JR常磐線付近の浸水対策（岩間地区）

- ・平成29年6月までに常磐線鉄道橋下部をJRの工事により40cm掘削して、流下能力が向上した。県は、JR常磐線前後区間の河川改修を実施中。

#### ⑱酒沼川の竹木の伐採

- ・南吉原、土師、押辺、安居、仁古田地区での伐採を要望した。

### [公園関係]

#### ⑲笠間芸術の森公園

【平成29年度予算：70,000千円】

- ・イベント広場の排水整備工事と立入防止フェンス設置工事を実施する。

### 平成29年度 県央農林事務所土地改良部門との勉強会(H29.7.24)



▲県央農林事務所土地改良部門（平石昇部門長）との勉強会で地元の農地整備を要望。霞ヶ浦用水Ⅲ期、友部小原、滝川、北川根、友部市原、随分附、大古山の各地区で事業が進められている。（H29年7月）

### 保健福祉委員会の質疑要約(H29.6.15)

- 民間獣医師とも連携し、犬猫殺処分ゼロを目指した不妊去勢手術を進めるべきだ
- 育休代替保育士確保のため、県による新たな保育士人材プールの仕組みをつくるべきだ

**常井委員** 動物指導センターでの犬猫殺処分頭数はだいぶ減少傾向にあるが、直近の殺処分頭数と全国比較での順位はどうなっているのか。

**前田生活衛生課長** 平成28年度の犬殺処分頭数が612頭、猫が1,679頭となっている。全国順位はまだ公表されていないが、いずれにしても犬の殺処分頭数は昨年度に比べ半減している。

**常井委員** ここへきて一段と減ってきたポイントは何であるか。

**前田生活衛生課長** 全国的にも動物愛護の機運が高まっており、本県でも飼い主の自覚が醸成されてきている。か

つて田園地域などでの放し飼いが一因でもあった野犬の数も減少しており、県民に適正飼養ということが浸透してきていると考える。

**常井委員** 我々いばき自民党でも、議会をあげて条例をつくり、様々な努力の結果、適正飼養という意識が広まってきたのではないかと思います。本年度当初予算で3千万円の増額修正を議決し、動物指導センターから譲渡する犬猫への不妊去勢手術に対し県費を出せることとなった。まだ6月半ばではあるが、効果のほどはどうか。

**前田生活衛生課長** 動物指導センターでの手術実施に必要な、非常勤獣医師の確保が予想以上に難航している。現在、臨床経験のある動物指導センター職員が既存業務と並行して手術を実施しており、これまでに21頭の不妊去勢手術を行っている。

**常井委員** そのような状態では、不妊去勢手術を受けさせたいという人に対応できないのではないかと。今後どのように進めていくつもりなのか。

**前田生活衛生課長** 動物指導センターでの獣医師確保と

並行して、民間動物病院での不妊去勢手術についても検討し、増額修正で措置して頂いた不妊去勢手術実施事業に適切に対応していきたい。まだ始めて2ヶ月であることから、もう少し時間を頂きたい。

**常井委員** 結婚や出産を機に退職した保育士は、潜在保育士となり、なかなか現場に戻ってこない。それが今、保育士不足の原因のひとつになっている。女性活躍の時代ということもあり、保育士の皆さんは自分の仕事にプライドを持ち、結婚、出産、育休を経ていつかは復帰したいと考えている。一方、経営者側に立つと、出産は嬉しいことであるが、年度の途中で保育士が育児休暇に入ると、代替保育士の確保が大変であり、他の保育士にも大きな負担がかかることになる。そこで私が考えるのは、例えば小中学校の補充教員、育休代替教員のように、県で(潜在保育士を活用した)保育士の人材をプールしておき必要な園へ派遣する、そのような仕組みができないか。育休をとる保育士

にとっては、職場復帰しやすい環境づくりになり、潜在保育士については、培ったキャリアを十分に生かすことができる。施設経営者側の立場としては、スムーズに保育士を確保できるようになり、現場の負担増加も避けられ、先生方はより一層子供たちに向き合っていけるようになるなど、物凄いメリットがある制度になると考える。そのような正のスパイラルを作るためには、産休育休の代替保育士となる人材をプールしておく仕組みを県としてつくるべきと考えるが、子ども政策局長の所見はいかがか。

**石川子ども政策局長** 現在はだいふ制度が改善され、育休をとれる仕組みも整ってきた。しかし現場では、委員が指摘されるような状況であると思う。代替保育士の確保や、育児休暇からスムーズに復職するための支援などをパッケージにした新たな仕掛けや施策を、現場の声も聴きながら検討していく。



▲日本原子力研究開発機構・大洗研究開発センターで発生した作業員の被曝事故について、いばらき自民党政調会長として現地調査。国へ意見書を提出した。(H29年6月)



▲友部高校は夏の高校野球県大会に、4校連合チームとして出場した。来年こそは単独チームで1勝をしたい。宮内校長先生と一緒に応援。(H29年7月)



▲第37回福原学童野球近隣交流大会開会式での選手宣誓。青木一郎公民館長さんたちが、子どもたちのために尽力されている。(H29年6月)



▲私の母校茨城高校が49年ぶりに4回戦進出、ベスト16に。私が高校1年で野球部のときにはベスト8。それ以来の「偉業」に笠間いばら会の皆さんと応援した。(H29年7月)



▲友部グラウンドゴルフ協会(小松崎勇蔵会長さん)は、第80回記念大会を開催した。開会式では高齢参加者を表彰した。(H29年5月)



▲岩間地区の高齢者ベタク大会には、約200人が参加した。藤枝好博会長さんから、ルールの説明を受けて元気にプレイした。(H29年6月)



▲旭町の市道脇にあった筑波海軍航空隊の慰霊碑が、こころの医療センター内の記念館の側に移設された。特攻隊員であった柳井和臣さん、航空隊友の会の高野克己会長さんらの念願がなった。(H29年6月)



▲筑波海軍航空隊の慰霊祭に、地元の幼稚園児、小・中学校、友部高校の児童・生徒が初めてそろって参加した。次の世代まで平和の願いを伝えたいという関係者や私の思いが実現した。(H29年6月)



▲身心障害児童のゆうあいスポーツ大会が笠松運動公園で開催された。常磐短大の保育士を目指す学生が全員ボランティアとして活躍した。同大の先生方と。(H29年5月)